

0750 | 映像メディア表現Ⅰ

2 単位（通信授業 2 単位）

牧野良三教授、板屋緑教授、篠原規行教授、岡川純子講師

授業の概要と目標

映像とは、写真、映画、テレビ、ビデオなどを中心とした、比較的新しい表現方法であり、その特性は記録性、再現性、現実性、訴求力の高さである。また伝達媒体、メッセージ、言語という側面も持っている。

この授業では、動的映像設計を主体とした表現について、その歴史をひもとき、特徴を理解し、映像制作の過程を丁寧に演習しながら、作品構成のプロセスを学ぶ。実地でのカメラによる撮影や編集作業などは授業課程中には含まれないが、単なる「ビデオ制作のハウツー」ではなく、「動画による表現」の核心に触れることを目的とする。

課題の概要

○通信授業課題 1

テキストに含まれる参考作品を分析する。

○通信授業課題 2

テーマに沿った映像作品を企画立案し、構成する。

授業計画

[通信授業]

テキストと学習指導書をよく読んでから取り組むこと。

○課題 1

テキスト付属の DVD に収録されている作品の構成を分析する。

学習指導書に添付されたフォーマットを複製し、規定の書式で分析をまとめる。

○課題 2

課題 1 の分析結果を生かして、自作の映像作品の企画構成を行う。

学習指導書に添付されたフォーマットを複製し、作品の企画を他者に伝えやすくまとめる。

成績評価の方法

課題 1 と課題 2 の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

実技演習は含まれない。

教材等

教科書：板屋緑、篠原規行監修『映像表現のプロセス』（武蔵野美術大学出版局 2010 年）

学習指導書：『映像メディア表現Ⅰ 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）